

静岡県立大学短期大学部

研究紀要 36-W 号 (2022 年) -4

歌による台湾と日本の言語的交流の実践
(透過歌謠進行台灣及日本的語言交流及實踐)

A Practical Research of the Exchange between Taiwan and Japan by
Singing each Home Linguistic Songs

山本 学 (静岡県立大学短期大学部)

郭 育志 (輔英科技大學應用外語系)

YAMAMOTO Manabu, KUO Yu Chih

Abstract

研究の目的を、台湾と日本の国際交流の一つの手段として、それぞれの国の有名な歌を伝え合うことを用いて、それぞれの言語や文化に対する興味をどのように持ち得るのか、コミュニケーションを広げる材料となりうるのか検討することとした。オンライン会議ツール google meet を使用し、台湾と日本の学生が台湾語「雨夜花」、日本語「ふるさと (文部省唱歌)」を教え合うことを通じて交流を行い、その後、質問紙調査を行った。

結果、両国合わせて 90.0% が良い経験、交流になったと回答しているが、歌を教える経験が初めてであること、恥ずかしいなどの問題点も顕在化した。肯定的な意見として、歌によって交流が広がった、お互いの文化を知ることができた、よりよくお互いを知ることができたなどがあり、発音が難しかったとしながらも面白かったなどの意見も見受けられた。

The purpose of my research is to expand communication by using the famous songs of each country as a means of international exchange between Taiwan and Japan, and how to develop an interest in each language and culture. I decided to examine whether it could be used as a material. Using the online meeting tool google meet, Taiwanese and Japanese

students interacted by teaching each other the Taiwanese language “Ú-iā-hoe” and Japanese “Furusato”, and then conducted a questionnaire survey. As a result, 90.0% of both countries answered that they had a good experience and exchange.

Keywords

台湾、日本、歌、外国語教育、歌、交流

1. 研究の背景

台湾観光協会¹⁾によれば、2019年に日本から台湾を訪れた人は2,167,952人であった。台湾を訪れる外国人全体は、11,864,105人なので、およそ18.2%が日本人である。同じく2019年に台湾から日本を訪れた人は4,911,681人であった。台湾からの旅客出国人数は、17,101,335人なので、およそ国外旅行者の28.7%が日本を訪れている。

台湾に関して言えば、日本は台湾との地理的な近さ、環境、治安の良さ、フレンドリーな人々から、常に台湾人が海外旅行する際のトップの選択肢の1つとなっている。台湾交通部観光局の観光統計データベースによると、新型コロナウイルス(Covid-19)が台湾に侵入する前年(2018年)、同年に日本を訪れた台湾人観光客は482万5948人に達した。

両国は海を挟んで隣国同士もあり、このように交流は盛んである。しかし、2020年は2019年に発生した新型コロナウイルス COVID-19の世界的な流行で、日本からの台湾旅行者は87.56%、台湾からの日本旅行者は85.79%減少した。

このようなコロナ禍で、台湾、日本ともに企業のオンライン会議や教育機関のオンライン授業が増えている。帝国データバンク²⁾の調べでは、日本の24,516社の企業に行った働き方改革の取り組みの調査において、オンライン会議を導入した企業が49.4%と半数近くに上っている。台湾においては、張鑑尹(2022)が「COVID-19 エピデミック下でのオンライン遠隔コースの学生学習効果と学習満足度に関する研究」³⁾で、オンライン遠隔コースの学習効果が学習満足度、知識の獲得、コース内容の理解に大きな影響を与えると述べていて、学習満足度に大きく影響していることが明らかになっている。

前述のように、台湾と日本の旅行者が減ったことから、実質的な国と国の渡航が制限され、観光系や外国語系の大学の学部学科は実地で学ぶ機会を奪われている現状がある。

台湾の嘉南薬理大学⁴⁾は、台南市にある私立総合大学で、薬理学部、人間生態学部、人文情報学部、環境持続可能性学部を有し、文化、レジャー、温泉などの研究センターを抱えている。理論と実践に等しく重点を置いた専門的な才能の育成に焦点を当て、国際的な視点と多様な生活の能力の育成を育むことを教育の目標としている。その中の人文情報学部には、応用外国語学科があり、基本的には英語教育を主としているが、台湾と日本の地理的な近さや文化的交流の多さなどから日本語の学習に興味を持つ学生のために 2019 年から応用日本語専攻が追加された。

筆者二名は、応用日本語専攻の学生と日本の静岡県立大学、静岡県立大学短期大学部の有志学生で言語的な交流の時間を設けられないかと考えた。郭(筆者)は応用外国語(日本語)を教授し、山本(筆者)は音楽教育学を教授している。かつて、筆者が経験した外国語の授業において「歌」を取り入れていたことを思い出し、歌の交流を入れて、その言語的交流の過程に考察を加えられないかと考えた。これが本研究の背景である。

據台灣觀光協會統計・2019 年日本來台人數共達 2,167,952 人。在訪台外國人總數 11,864,105 人中・日本人約佔 18.2%。同樣在 2019 年台人訪日人數則達 4,911,681 人。台灣出國總人數 17,101,335 人中約有 28.7%的台灣旅客選擇前往日本。

台灣方面・由於日本鄰近台灣的地緣關係・又因其環境・治安的良好・以及人民的友善・日本一直是台灣人出國觀光首選之一。根據台灣交通部觀光局觀光統計資料庫資料顯示・新型冠狀病毒(Covid-19)進入台灣前一年(2018 年)・當年赴日旅遊之台灣民眾已高達 4,825,948 人。兩國是隔海相望的鄰國且交流活躍。由於 2019 年新型冠狀病毒 COVID-19 的發生・2020 年日本赴台旅遊人數減少 87.56%・台灣赴日旅遊人數亦減少 85.79%。

由於新冠疫情・台灣和日本公司的線上會議及教育機構的線上課程使用率也日益增加。根據帝国データバンク針對 24,516 家日本公司工作改革進行的一項調查發現・49.4%的公司開始使用線上會議。

台灣方面・張鎧尹(2022)「COVID-19 疫情下線上遠距課程之學生學習成效與學習滿意度之研究」中提到：線上遠距課程學習成效對學習滿意度有部分顯著的影響；知識獲得和課程內容理解對學習滿意度有顯著影響。

如前所述・因疫情導致台灣和日本的遊客減少・國與國之間的諸多交流亦受到

極大限制・對觀光系和外語系學生而言，也如同被剝奪了在該領域學習的機會。

台灣嘉南藥理大學是一所位於台南市的私立綜合大學，設有藥理學院、民生學院、人文暨資訊應用學院、休閒暨健康管理學院，以及文化、休閒、溫泉研究中心。教育注重理論與實踐並重的專業人才培養，以培養國際視野和多元化生活能力為教育目標。人文暨資訊應用學院設有應用外語系，主要以英文教育為主，但因台灣與日本地緣相近，文化交流多，許多同學也對學習日文有興趣。該系自2019年開始為學生添加日文組，兩位作者認為，日本靜岡大學和靜岡大學短期大學部的學生可以此進行語言交流。郭老師（作者）為應用外語（日語）專長，山本老師（作者）為音樂教育專長。因此我們進行了結合外語及歌曲的特別課程，想知道是否可以通過加入歌曲交流來考慮語言交流的過程。作為本研究的背景。

2. 歌と外国語教育における先行研究の検討

歌を用いた外国語の学習の研究として、伊藤(2005)⁵⁾の「高等学校における外国語の歌の取り扱いに関する考察：中国語の歌を用いた授業を例に <第2部教科研究>」では、高校の音楽科の授業における外国語の取り扱いに注目し、中国の青海地方の民謡である「草原情歌」を中心に扱い、歌詞の発音に重点をおいた授業展開の実践と考察を述べている。その結果、「はじめて触れる中国語に戸惑いながらも、授業を重ねるにつれて完全ではないにしろ中国語の発音も安定し、全体には歌そのものを楽しむことができた」と報告している。しかし、「慣れ親しんでいる日本語や英語の歌のように歌えないことにももどかしさを感じる者もいた」とも報告している。歌詞の発音のトレーニングに主軸を置きながらも「言語のみならず、中国の音楽文化についても言及することができた」など、文化は一側面から見るだけの固定的なものではないと断ったうえで、文化的な理解の促進の成果も得られたとしている。

また、和田(2014)⁶⁾の「小学校外国語活動における歌活動事例の音韻論的分析」では、英語と日本語において、話し言葉のアクセントとリズムが音楽のそれらについてどう反映されているのか調査し、「朧月夜」の原語と英語版の授業実践で、学習者の音韻的な気づきが、どのようにして得られるのか、学習者の発言を元に分析している。そして、歌を利用することは、英語の音節、アクセント、リズムを教えるための効果的なリソースとなりうることに言及している。

研究以外の分野でも、かけ算九九のうたは日本において広く存在している。例えば、日経新聞 2018年8月8日⁷⁾には、進研ゼミを展開するベネッセコー

ポレーションとエイベックス・マネジメントがかけ算九九が覚えられる映像学習コンテンツを共同開発という記事が掲載されたり、静岡新聞 2011 年 9 月 11 日には「歌で覚える CD 人気」の記事のもと⁸⁾、九九や県庁所在地を歌で暗記できる CD が人気で 2 万枚を超える売り上げがあることなどが掲載されたりしている。

Sposet(2008)⁹⁾によれば、アメリカにおいてもナーサリーライムが英語を母語としない学習者に対する言語教育として用いられてきたことなどを例にあげ、古くから言語教育と歌は密接な関係をもっていることを言及している。

また、台湾では、林孟璇(2018)¹⁰⁾が研究結果から、英語の歌の指導が生徒の英語語彙力を効果的に向上させ、全体的な英語レベルの向上に大きく役立つことを示している。さらに、李淑敏(2011)¹¹⁾は、ポピュラーソングを教育に取り入れることの利点を明らかにしている。ポピュラーソングを取り入れることにより、雰囲気はよりリラックスして快適になると同時に、教師と学生、仲間との相互作用が良好となったことが報告されている。学生の観点からは、学生中心で、学生の参加度が高いなど、より多くのことができることがわかっている。このことから、台湾での研究結果においても、歌による言語コミュニケーションに非常に良い影響と利益をもたらしていることがわかります。

2. 以往歌曲與外語教育研究的回顧

作為使用歌曲學習外語的研究・伊藤(2005)の「高等学校における外国語の歌の取り扱いに関する考察:中国語の歌を用いた授業を例に <第 2 部 教科研究> 研究中・其論文關注高中音樂課中的外語使用・並以中國青海民歌《草原之戀》為主・以歌詞發音為重點・探討課堂發展的實踐與思考。就結果而言:「雖然部分學生因初次接觸華語感到困惑・但隨著課程的進行・也能掌握華語發音・雖然無法完美表達・但就總體而言是非常享受該歌曲的。」然而・也有回答如下:「因為無法像習慣的日文和英文歌那樣順利唱歌而感到沮喪。」在專注於歌詞的發音訓練的同時・說道:我不僅能學習到華語・還能學習到中國音樂的文化・據說也促進了該生對於文化的理解。

此外・和田(2014)の「小学校外国語活動における歌活動事例の音韻論的分析」・調査了口語的口音和節奏如何在英語和日語的音樂中反映出來。使用歌曲「朧月夜」並透過學習者的感想進行分析・從歌曲可以更精確的掌握到英語音節・發音和節奏等有效資源。

在研究以外的領域，九九乘法表在日本被廣泛使用。例如，在 2018 年 8 月 8 日的日經新聞提到：進研研究團隊開發的倍樂生公司及愛貝克思管理的九九乘法表背誦影像學習內容亦被專題報導，2011 年 9 月 11 日的靜岡新聞「歌で覚える CD 人気」專欄也提到：據悉，一張透過歌曲記住九九乘法表的 CD 大受歡迎，並已售出 2 萬多張。

台灣方面，林孟璇(2018) 由研究結果顯示可知英語歌曲教學能有效增進學生的英語字彙能力，對於整體英文程度的提升有實質的幫助。

李淑敏(2011)透過流行歌曲融入教學的優點為：氣氛較輕鬆、愉悅，同時師生間、同儕間互動佳，站在學生的角度而言更能以學生為主體，並且學生參與度高。由此可知，在台灣方面的研究成果，透過歌曲進行語言交流是有非常正面的影響和助益的。

3. 研究の新規性

本研究は実践報告的な要素を多分に含み、先行研究のような音韻的要素、発音トレーニングなどの各要素について分析を行っていない。その意味で、新規性は少ない。しかし、歌は西洋音楽の素地を持っている文化圏同士において、共通の認識を持ちやすい手段である（J.Blacking の「音楽は人間によって組織づけられた音響である」、人間の音楽性は、その社会や文化特有の関わりに依存するものという提唱¹²⁾とは矛盾しない）。この共通認識を、台湾華語と日本語という異なる言語間での交流の際に、媒介として歌を使うことを意図したものである。

交流を目的として歌を使用した実践自体は、交換留学などでお互いの交流のために両国の歌を歌うことなどを考えると珍しくないと思われる。ただし、オンライン上で行ったこと、また、数名ずつのグループ交流で行った実践報告は見当たらなかった。

3. 研究的新穎性

本研究包含了諸多實踐報告，並沒有像以往的研究那樣針對語音要素、發音訓練等進行分析。從這個意義上說，沒有什麼新意。然而，歌曲是一種促進以西洋樂為文化基礎。J.Blacking の「音楽は人間によって組織づけられた音響である」說道人類的音樂性和社會文化特有的依存是沒有矛盾的。透過這樣的音樂共享，能作為台灣華語和日語的交流媒介。

能夠透過兩國歌曲演唱進行交流的研究方法實屬可貴・但也考慮到我們是以線上形式進行・故此我們也嘗試將學生分成數個小組・並將其成果作為實際報告。

4 研究の目的

本研究は、台湾と日本の国際交流の一つの手段として、それぞれの国の有名な歌を伝え合うことを用いて、それぞれの言語や文化に対する興味をどのように持ち得るのか、コミュニケーションを広げる材料となりうるのか検討することを目的とする。

4 研究目的

本研究透過台日交流作為研究手法之一・並傳達彼此國家名曲進行交流・不只能提升同學對於語言及文化的興趣・交流方法的多元・亦是此次研究的目的之一。

5 研究の方法

期間：2021年9月29日（wed）11:20-12:20、14:20-15:20（台湾時間）

参加者：2回の合計、台湾人25人、日本人15人（台湾人は嘉南薬理大学應用外語系の学生で、日本人は静岡県立大学と同短期大学部の学生である）

方法：google meet を使用し、1回あたり40分とし、歌を教え合うこと以外は自由に交流することとした。

交流に使用する楽曲：台湾語「雨夜花」、日本語「ふるさと（文部省唱歌）」

学生たちには、

- ・40分を自由に使ってください。
- ・基本、日本語を使う。時々、英語を使う。（日本の学生はむこうが困っていても日本語を話してよいです、優しい人は英語などでなんとかコミュニケーションとりましょう）。ただしゆっくり話すこと、文法のきれいな日本語を話しましょう。
- ・学生は日本語（と台湾側：日本語と台湾華語）で全員、自己紹介をする（名前、好きなもの、興味のあるものなど）。
- ・日本人は歌の「ふるさと furusato」の1番を教えます。台湾は「雨夜花」を日本の学生に教える。楽譜を用意する。（教え終わらなくてもよい。コミュニケーションに時間を使ってもよい）

- ・以下を 40 分で行う。余った時間はなにを話してもよい。
- ・お互いの国について質問をする。
- ・ communication は、お互いの国への最大限の尊重を大切にしたいうえで実施すること。無知が失礼を生むこともあると思うが、そこは、丁寧に誤解を解消するかもしれない、今後の課題とするため日本は山本学へ、台湾は郭育志へ伝達すること。(中国と間違えることは避ける)
- ・終わった後は、それぞれの先生のところで振り返りをしてください。と伝え、終了した後に紙面調査を行った。

倫理的な配慮

台湾の学生は郭が研究協力の同意を取る。日本の学生は山本が研究協力の同意を取る。その際、個人が特定されることはないこと、データは研究のためだけに使用し、一定期間の保管の上、完全に削除すること、研究終了後でも降りることは自由であることを伝えた。また、紙面でも説明を行い、直筆の署名をしてもらった。

5 研究方法

時間：2021年9月29日(週三)台湾時間 11:20-12:20、14:20-15:20

参加人数：台湾学生 25 人、日本学生 15 人(台湾嘉南药理大学外语系学生、日本静岡大学短大部学生)

方法：使用 google meet、表定每节 40 分钟、除了该国歌曲相互教学外、其余为自由交流时间。

选定音乐：台语「雨夜花」、日语「ふるさと」

学生安排

- ・40 分钟自由安排。
- ・基本上使用日语、并以英语进行辅助。(以简易英语辅助交流)并且使用相对简单易懂之日语进行对话。
- ・日本学生使用日语、台湾学生则以日语及台湾华语进行自我介绍(姓名、嗜好、兴趣等)。
- ・日本学生以歌曲「ふるさと」进行教学、台湾学生则以歌曲「雨夜花」进行教学(不必仅侷限于歌曲、亦可进行文化及语言上的交流)

- ・ 在 40 分鐘內完成以下操作。其餘的時間我們可以聊些什麼？
- ・ 詢問對方國家的問題。
- ・ 應在相互尊重對方國家的情況下進行交流，盡可能不產生失禮行為，造成誤會，若有任何需要可立即聯絡山本老師及郭老師。
- ・ 完成後，請回到各自老師的班級進行討論，並於課後填寫問卷調查。

研究倫理

台方學生由郭老師取得學生同意，日方學生則由山本老師取得學生同意。並妥善保管學生個資，問卷結果僅運用於研究之上。

6 結果と考察

表1 「自分自身の良い経験になりましたか？您覺得這次的交流經驗如何？」に対する回答

国	5good	4	3	2	1bad	無回答	計
台湾	17	4	2	0	1	1	25
日本	12	3	0	0	0	0	15
計	29 (72.5%)	7 (17.5%)	2 (5.0%)	0	1 (2.5%)	1 (2.5%)	40

表2 「歌による交流を必須としましたが、この試みはどうでしたか？
這次主教是透過歌曲進行交流，覺得這樣的交流方式如何呢？」に対する回答

国	5good	4	3	2	1bad	無回答	計
台湾	11	6	6	0	1	1	25
日本	5	5	5	0	0	0	15
計	16 (40.0%)	11 (27.5%)	11 (27.5%)	0	1 (2.5%)	1 (2.5%)	40

表1では、72.5%の学生が自分自身の良い経験になったという項目で5をつけている。両国の学生にとっても意味のある実践であったと考えられる。表2では、この実践のうち、歌の教え合いによる交流に限定して聞いているが、こちらは、5をつけた学生は40.0%と少なくなっている。よかったに属する4と5の回答まで含めれば67.5%なので一定の意味があったと考えられる。

交流自体の満足度（表1）から歌による交流の部分（表2）が下がってしま

った要因のために、該当箇所の自由記述のうち、「歌」に関する記述を抜き出した。なお、台湾華語のみの表記は、日本語訳も同時に示している。

表 1 中、72.5%的學生對自己此次課程體驗的評價中給出了 5 顆星。認為此次課程的做法對兩國學生都非常有意義。表 2 中、在這些實踐中、我們雖然僅通過歌曲互教進行交流、則有 40.0%的學生給了 5 顆星。就總體而言評價 4 顆星和評價 5 顆星的滿意度中則高達 67.5%。詳細的課程評價將以雙語形式記載於下述。

表 3 歌に関する自由記述（抜粋しているが抜粋部分は原文通りを掲載）

回答者	表 2 評価	歌に関する自由記述
日本 1	3	歌詞をひらがなで書いて見せることでうまくいった。日本語が通じなかった言葉を英語で伝えたけど、あまりうまくいかなかった。
日本 2	5	歌に関しては、ふるさとを実際に歌ってみたり、歌詞の説明をして相手に伝えることができたと思う。台湾側の学生はそもそもあまり歌を知らないようで youtube を見せてくれた。台湾側の学生は日本語が上手で、英語の方が通じないことが多かった。
日本 4	5	歌による交流を行うことで、話題が広がってよりコミュニケーションがとれたと思う。フリーの時間では、どんな音楽を聞いているかなどのお話で盛り上がった。歌を教えるときに「夢は今もめぐりて」のメロディが難しかったらしく、意思疎通に時間がかかってしまった。また、台湾の歌を教わっているときにどこをやっているのかわからなくなってしまって、聞こうとしたが一生懸命教えてくれていたので言えなかった。
日本 5	3	日本語での会話が少し難しかったので歌を伝え合うことは大変でした。画面共有を利用し、動画を流し合って歌を聴けたのでなんとかなりました。フリーの時間で、好きな曲についても話しました。ふるさとの歌詞は難しいと感じ、今習っている子どもの歌の方が手遊びを入れながら楽

		しみながら覚えられたかなと思いました。
日本 7	3	歌を教えるまでに時間がかかりました。コミュニケーションをとる方に時間をかけてしまいました。歌詞カードを用意しておくとうよかった。
日本 8	4	「雨夜花」を教えてもらうときは、こちらがわかりやすいようにゆっくりと丁寧に説明してくれて理解しやすかった。ただ、台湾語は今まで触れたことがなかったので、発音の仕方が難しかった。「ふるさと」を教えるときは相手がどの程度理解できているのか把握することが難しかった。
日本 10	3	台湾華語の発音に慣れていなかったため、互いの国の歌を互いの国の発音で歌うことを教えることは難しく感じた。課題曲＋互いの国で流行している曲を動画で流して聞いたが台湾ではこのような曲が流行しているのかなど動画を交えて、会話をすることは楽しかった。
日本 11	4	日本や台湾が持つそれぞれの文化を感じるには歌を歌うことはよかったのではないかと思った。しかし、台湾の学生が台湾の歌を歌えなかったため、準備や練習をお互いにもっとした方がよかった。カラオケでよく歌う曲など互いに共感できるような話題の時は話が盛り上がり、うまくコミュニケーションがとれた。
日本 13	3	最初の自己紹介はお互いにうまくいったと思いますが、本題の歌を伝えるということは非常に難しいと感じました。
日本 14	4	国も文化もちがうのに、同じテーマでそれぞれ話すのはとても楽しかった。「ふるさと」以外にも他の曲の話をしたとき、言葉で説明しなくても歌うことでコミュニケーションがとれて、音楽は共通なのだと思います。
日本 15	5	私は英語を使うことで少しでも日本語の意味を分かりやすく伝えようと思いました。「ふるさと」は一つ一つの言葉を分かりやすく日本語と英語に直すことで、相手に少しでも伝わるように努力しました。すると、相手の「雨夜花」についても一つ一つの言葉を日本語や英語に直しながら意味を伝えてくれました。

台湾 2		因為這次的「雨夜花」其實我也沒聽過所以不太會唱（雨夜花を聴いたことがなかったので知りませんでした）
台湾 4		開始先自我介紹，然後唱歌，我們都覺得歌很難（最初に自己紹介をしてから歌いました。歌うのは難しいです）
台湾 5	5	今回の交流会は、歌に通じて台湾と日本文化違いのこと、本当に面白かったです。機会があれば、ぜひ参加します。理解できないの時、ゆっくりわかりやすいの言葉、もう一度話しました。
台湾 6	3	我覺得還好，歌曲有點難。（大丈夫でしたが、歌うのは少し難しいです。）Vtuber 的話題、歌曲，台灣美食（（フリートークにおいて）Vtuber や歌や台湾の美食について話をしました）。
台湾 8	5	（歌について）言語はなじみがないですが、とても面白いです。
台湾 11	5	（フリートークにおいて）私たち好きの歌（の話をしました）
台湾 12	4	始めて日本人と話します、とても緊張する、ですが歌の交流後、その緊張な気持ちはほどんどないですから、本当にいい経験と思います
台湾 13	5	めちゃ楽しいです！貴重な経験です！
台湾 14	3	剛好兩個人都不會台語加上聲音有點延遲,也不是說這方法不好,但要指定歌曲的話找中文歌。就好（たまたまどちらも台湾語が話せず、音が少し遅れてしまうので、この方法が良くないわけではありませんが、曲を指定したい場合は見つけることができます）。音楽跟動漫就好聊（音楽とアニメーション（の話はうまくできました））
台湾 15	5	透過歌曲其實有不錯的體驗，希望可以再舉辦類似的交流會（この曲を通して、いい経験ができたのでまた同じような交流会を開きたいです）
台湾 16	5	歌詞翻譯困難 其實台語也沒有很好（歌詞の翻訳は難しいです。実際、台湾人はあまり上手ではありません。）
台湾 17	1	我們其實沒唱歌都在聊興趣，但我認為其實不用唱歌交流也

		<p>行，光是興趣就聊得很久很深入了，雖然我大多都聽不懂它們在講什麼，但因為都有開視訊鏡頭的關係，大致上可以猜得出來它們講的話。雖然聽不懂其中的內容沒法與它們有更多的交流，但我認為聽聽看不仿也是種學習方式，</p> <p>能夠加深口頭上的應對方式，希望能夠有機會再次與日本人線上交流。（實際、私たちは歌わずに自分の興味について話していましたが、コミュニケーションのために歌う必要はないと思います。私たちは興味があるという理由だけで、長く深く話しました。彼らが何を話しているのかはほとんどわかりませんが、全員がビデオカメラを搭載しているので、彼らが何を話しているのか大まかに推測できます。</p> <p>もしも、内容がよくわからず、コミュニケーションも取れませんが、聞くことも見ることも学ぶ方法だと思います。口頭での対処スタイルを深めることができ、また日本人とオンラインでコミュニケーションをとることができればと思います。）</p>
台湾 18	4	<p>私は歌うが下手です。はずかしい。あのうつに、おどおどから話さない。もしごさいません。</p>
台湾 19	5	<p>うまくいったコミュニケーションのは好きのアーティストかな、やっぱ自分が好きだから。</p>
台湾 20	4	<p>但是對音樂的討論很少，都隨便聊。（しかし、音楽についての議論はほとんどなくカジュアルなチャットだけでした。）</p>
台湾 24	3	<p>日本同學很熱情的和我們台灣同學聊天，也很有興趣的想學我們台灣的歌曲「雨夜花」，這首歌是台語歌要唱成日文我覺得蠻困難的...最終還是教日本同學一段歌詞，</p> <p>日本同學也很熱情要教我們唱日文歌，發音唱調高低感覺好難抓到～但我們開心可以跟日本同學認識（日本人のクラスメートは台湾のクラスメートとおしゃべりすることにとっても熱心で、台湾の歌「雨夜花」を学ぶことにも非常に興味を持っていると思います。この歌は台湾の歌であり、日本語で歌うのは難しいです。最後に、私は日本を教えます。</p>

		クラスメートの歌詞、日本人のクラスメートも、日本語の歌を教えてくれることにとっても熱心です。発音や曲調がわかりにくいですが、日本人のクラスメートと知り合うことができ嬉しです。)
台湾 25	5	素晴らしいです。歌を通してコミュニケーションをとることでお互いをよりよく知ることができます。あるいは、歌を使ってトピックを拡張することもできます。 很棒 透過歌曲進行交流可以更了解對方, 或是利用歌曲延伸話題

評価で1をつけた学生は、はっきりと交流に歌は必要なかったと述べている。ただし、このグループはその困難さから歌の教え合いを早々に断念していたこともうかがえる。また、普段から歌を教える機会がない、初対面で言葉の壁があることから、動画サービスをつかって教え合うなど、いろいろと工夫をした様子がわかるが、ともかく苦労したグループも少なくなかったように思われた。

そのほかには、日本側は保育者養成課程の学生のため、歌の授業もあり、歌うことに慣れていたからかそのような記述は現れなかったが、台湾側の自由記述には、歌を歌うことが恥ずかしいという記述も見られた。また、「雨夜花」は台湾では有名な曲ということだったが、学生自身があまり知らないという問題もあったグループがあったようなので、こういったことも課題のように思われた。

また、歌を教え合う以外では、フリートークを行ってよいことにしてあったが、そこでは話題の指定がなかったにも関わらず、お互いが好きな音楽を話題にしていたことも表れていた。

肯定的な意見には、歌によって交流が広がった、お互いの文化を知ることができた、よいよくお互いを知ることができたなどがあり、発音が難しかったとしながらも面白かったなどの意見も見受けられた。

課程評価1顆星的學生明確表示：他們認為不需要透過歌曲來進行交流。不過可以看出，該組因認為歌曲難度較大，所以很早就放棄了交流。另外，也因平時沒有機會進行歌曲教學，加上初次見面的語言障礙，從課程分組中可以看到他們嘗

試了各式各樣的努力，例如通過影片嘗試協助教學，過程中似乎非常的辛苦。

一方面，日方學生由於為幼保員養成課程之學生，似乎已習慣以歌曲輔助課程的配置，而台方學生由於並未選修過相關課程，因此對於「在課堂上唱歌」感到害羞。另外，「雨夜花」雖作為台灣名曲，但仍有許多台灣學生對該曲不太熟悉，這也是今後值得討論的議題。

另外，除了歌曲教學外時間我們將其設定為自由談話時間，或許是未指定談話主題緣故，因此學生皆將話題重心放在相互喜歡的音樂上。

在肯定的意見上，透過歌曲交流也能延伸至兩國文化的交流，除了能相互了解過去所不知道的議題外，也因外語歌曲發音的困難而對此產生興趣。

7 まとめ

外国語活動に歌が用いられている研究や実践から着想を得て、今回は交流の実践の材料としてオンラインで数名ずつのグループで互いの国の有名な歌を教え合う実践を試みた。実践としては、参加者の満足度も高く、良い実践であったが、歌の交流の場面では、音楽に対する素地の面や、その歌に対する個々の理解、オンライン、初対面、言語習得のレベルの問題等で、多くの課題がみつかった。その中でも、歌によって交流が広がった、面白かったなどの肯定的意見が多かったことから、今回の課題を改善していくことで、有効な手段となりうるように思われた。また、話題の指定がないフリートークの時間にも関わらず、互いの好きな音楽を話題にしていたグループも多く、可能性を感じた実践であった。

總結

透過外語歌曲進行交流課程中的研究和實踐之啟發，這次我們嘗試分成數個小組，並過線上軟體作為實踐交流的素材。就實踐結果而言，學生普遍滿意度偏高，並且感受良好。然而我們亦發現了些許問題。

問題在於，無論是音樂因素、線上因素、初次見面因素、語言能力因素等，學生們的程度有著極大差距，然而最多的正面評價為：

透過這樣多元的交流方式，讓課程感到有趣，這也將作為今後研究的參考依據。此外，在沒有特定話題的自由談話時間中，有許多團體都將談話話題專注於其喜歡的音樂，筆者認為這是一種很有潛力且具參考價值的實踐。

8 引用、参考文献

- (1) 台湾観光協会、<https://jp.taiwan.net.tw/> (→観光→旅客統計表
<https://jp.taiwan.net.tw/m1.aspx?sNo=0024366>)、2022年6月21日閲覧
- (2) 帝国データバンク、<https://www.tdb-di.com/2021/10/sp20211021.pdf>
(2022年6月21日閲覧)
- (3) 張鐙尹(2022)「COVID-19 疫情下線上遠距課程之學生學習 成效與學習滿意度之研究」、嶺東科技大學企業管理學類學術論文
- (4) 嘉南藥理大學、<https://www.cnu.edu.tw/> (2022年6月21日閲覧)
- (5) 伊藤真(2005)「高等学校における外国語の歌の取り扱いに関する考察：中国語の歌を用いた授業を例に <第2部 教科研究>」、中等教育研究紀要 / 広島大学附属福山中・高等学校 (45), 249-254
- (6) 和田あずさ (2015)「小学校外国語活動における歌活動事例の音韻論的分析」、東京大学大学院教育学研究科紀要、54,pp.491-501
- (7) 「ベネッセとエイベックス・マネジメント、かけ算九九が覚えられる映像学習コンテンツを共同開発」、日経速報ニュースアーカイブス、2018年8月18日(日経テレコン21参照)
- (8) 「 $3 \times 2 = 6$ $9 \times 9 = 81$ $8 \times 6 = 48$ …-歌で覚えるCD人気 九九や県庁所在地など」、静岡新聞朝刊 p.3、2011年9月11日(日経テレコン参照)
- (9) Barbara A Sporet (2008) The Role of Music In Second Language Acquisition: A Bibliographical Review of Seventy Years of Research, 1937-2007, Edwin Mellen Pr
- (10) 林孟璇(2018)「英語歌曲教學對國小五年級學生英語字彙學習成效之研究」、國立臺南大學綜合教育學類學術論文
- (11) 李淑敏(2011)「英語流行歌曲融入教學對國中生英語學習成就及動機影響之研究」、國立臺中教育大學綜合教育學類學術論文
- (12) J.ブラッキング、徳丸吉彦訳 (1978)『人間の音楽性』、岩波書店

(2022年12月9日 受理)